

JANOG37

Meeting

RICOH
imagine. change.

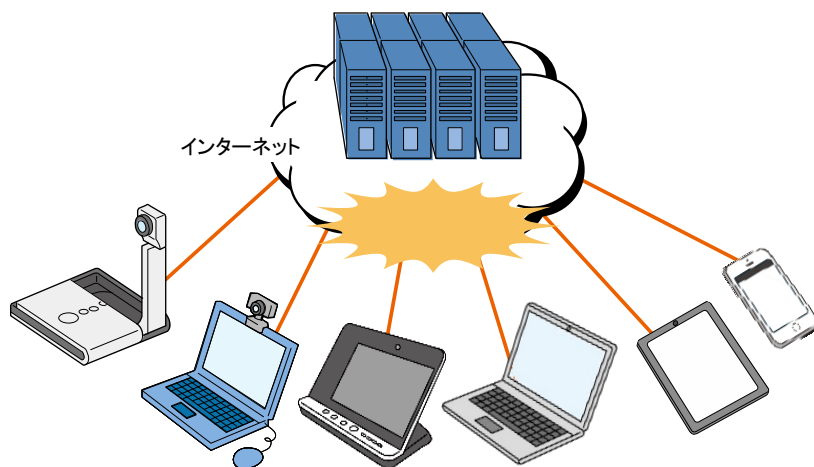
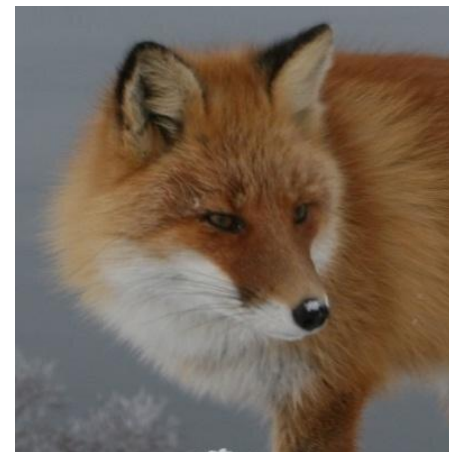
janog.log ミーティング記録の残し方

2016年1月21日

株式会社リコー 後藤芳和

19/01/2016

- 名前: 後藤 芳和
- Twitter: @goto_ipv6
- 出身: 北海道(なので道民です)
- なぜJANOGに?
 - ネットワークが好きだから
 - UCSというビデオ会議システムのバックボーンを担当しているから



- JANOG LT night #1 での発表がきっかけ
 - IIJ松崎氏から「BoFをやりませんか?」と提案をいただきました
- どんな発表を？
 - 「tsudaり」の手法と(私にとっての)メリット
 - ・ Twitterにリアルタイムで議論の内容をつぶやいていく
 - みんなでつぶやこう！
 - ・ お互いに助け合う感じで
 - ・ 「その時」の発表について何かが見えてくるかも
 - ・ 一つ、気がかりなことも…
- 「気がかりなこと」を解消したい！
 - これが今回のテーマ

- ビデオではなくて tsudaりが永遠に残ってしまう
 - 内容が多少なりとも不正確な tsudaりが(ほぼ)永遠に残り続けてしまうのはどうなのか？
 - 内容が正確に記録されるビデオアーカイブは 2週間で消えてしまうのに…
 - ビデオも tsudaりも、2週間を過ぎて参照されることはない？

- そもそも JANOG Meetingに「記録」は不要？
 - 以前は JANOG公式の「ログ」が存在した
 - ・ 内容精査後の掲載であったために、リアルタイムではなかった

皆様のご意見をお聞かせください。

RICOH
imagine. change.